

ひがしなるせ



議会だより



大正の
秋の日

もくじ

- こんなことが決まりました……………P 2
- 一般質問に5人が登壇……………P 6
- 村長の行政報告・教育行政報告……………P11
- 焦点 決算審査……………P12
- 視察レポート……………P14
- こんな質疑が……………P16
- 請願・陳情などの処理状況……………P18
- 私もひとこと(桧山台・岩崎高澄さん)……………P18

No.121

平成13年10月20日
発行



合併浄化槽工事 (滝ノ沢地区)



条件があれば税の軽減も

(岩井川)

こんなことが 決まりましたが

九月十七日から二十七日までの会期で定例会が開かれ、本年度の各会計補正予算や条例改正案などのほか、平成十二年度の各会計の決算認定議案などが提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書が提出され、これらすべての議案などは原案可決・承認とされた。

9月 定例会

高齢者の住宅安定確保など 税条例改正案を可決

国の法律が改正され、

これに伴い村の条例も改正

政令で定められた高齢者向け

優良貸付住宅

(一区画五戸以上、

一戸当たり25㎡以上、

バリアフリー化、耐火構造、

などの条件がある)

を建設する場合は、届け出

により固定資産税の三分の二が五

年間軽減されることになった。

長期株式に係る小額譲渡益非課

税制度が創設された。

平成十三年十月一日から平成十

五年三月三十一日までに、これま

で三年以上所有していた上場株式

などを譲渡した場合、一定の要件

に合うものはこの所得から百万円

を控除できることとなった。



村固定資産評価審査委員会 委員を満場一致で選任

平成十三年九月十九日で任期満了となる
村固定資産評価審査委員会委員に同意

○ 藤原 信雄 田子内字平良百十四番地二
(五十一歳) 【再任】

○ 佐藤 利男 岩井川字東村七番地
(六十八歳) 【再任】

○ 高橋 義明 椿川字谷地上村八十番地一
(四十八歳) 【再任】

村教育委員会委員に満場一致で選任

平成十三年九月三十日で任期満了となる
村教育委員会委員に同意した。

高橋 憲 蔵

(五十九歳)

椿川字天江五十六番地

【再任】



なかよし二人組

マイクロバスの購入費用などを補正

※ 歳出に関する主な質疑は16・17ページに

案 件	議決内容
税条例の一部改正 (2ページに関連記事を掲載)	原案可決
教育委員会委員の選任 (3ページに関連記事を掲載)	原案同意
固定資産評価審査委員会委員の選任 (3ページに関連記事を掲載)	原案同意
村が保育を実施する児童に湯沢市立湯沢保育所を使用させる事に関する協議について 〈湯沢市の保育所に入所させること〉	原案同意
13年度国保特別会計(事業)補正予算 〈724万7千円を追加した〉	原 案 可 決
13年度国保特別会計 (直営診療施設)補正予算 〈1千22万1千円を追加した〉	
13年度簡易水道特別会計補正予算 〈94万9千円を追加した〉	
13年度介護保険特別会計 (保険事業)補正予算 〈1千936万7千円を追加した〉	
13年度介護保険特別会計 (介護サービス事業)補正予算 〈61万8千円を追加した〉	
13年度簡易水道特別会計補正予算 〈歳出の組み替え補正〉	



パークゴルフで健康づくり

◎繰越金の確定に伴う補正

◎繰越金の確定に伴う補正

◎繰越金の確定に伴う補正

◎介護保険のサービス給付の増加により追加した。
また、12年度の確定に伴う166万8千円の償還金があった。

◎繰越金の確定に伴う補正



自然乾燥米づくり

主な予算・条例など

※ 陳情・請願については最終ページに掲載

【13年度一般会計補正予算の主なもの】

- ◎ 歳入
 - ・地方交付税の追加、繰越金の増加などが
主な要因
- ◎ 歳出
 - ・機能訓練用のマイクロバスの更新 808万円
 - ・手倉バス停の工事 150万円
 - ・村の例規集の電算化の企画・設計委託 531万円
 - ・介護保険特別会計へ繰出金
 - (保険事業)へ 442万円
 - (介護サービス事業)へ 61万円
 - ・保育所の調理員・職員代替え賃金 123万円



帰りの会でお話タイム (やまゆり保育園)

- ・岩井川、川通りなど3か所の水路改修
 - 測量設計委託料追加 100万円
 - 本工事費追加 415万円
- ・農業用水路改修などの資材費追加 150万円
- ・ジュネス休養センターのボイラー交換
 - 420万円
- ・道路維持費の工事費追加 600万円
- ・道路新設改良の測量設計登記委託追加
 - 100万円
- ・カントリーパークの受水層の雪囲い工事
 - 170万円
- ・財政調整基金に 1億円を積み立てる。

案 件	議決内容
13年度一般会計補正予算 <1億7千134万6千円を追加した> (16,17ページに関連記事を掲載)	原 案 可 決
12年度一般会計歳入歳出決算認定 (12,13ページに関連記事を記載)	原 案 認 定
12年度国保特別会計(事業勘定) 歳入歳出決算認定	
12年度国保特別会計(直営診療 施設勘定)歳入歳出決算認定	
12年度簡易水道事業特別会計 歳入歳出決算認定	
12年度老人保健特別会計 歳入歳出決算認定	
12年度介護保険特別会計(保険事業 勘定)歳入歳出決算認定	
12年度介護保険特別会計(介護サービス 事業勘定)歳入歳出決算認定	



柳 邦夫 議員

成瀬川の水環境と将来は 村長/川の機能を維持し良いダム実現に努力

問 清流の源は太古の原生林である。現在の成瀬川は、例え大雨が降っても三日経てば川底の見える澄みきった溪流となる。

しかし、ダムでせき止められた濁り水は、いかなる高度な選択取水設備を取り付けても、澄むまで二十日以上要するのが現実だ。

それに普通の年であれば、月に一度位は雨が降る。するとまた濁る、この繰り返しで、二度と再び清流を取り戻すことができない濁り川となる。しかも一番ひどいのが地元村である。

これは、隣村の川の状態を見れば一目瞭然だ。東小の校歌にも「清き成瀬の溪流は」と歌いつがれてきた。成瀬川は、緑豊かな自然景観と共に村民の平等な共有財産だ。

私は、星空日本一の村、ホタルの里に最もふさわしいのは、清流日本一の村づくりと思う。自然が環境を形造るには、長い歳月を要し、破壊は短時間だ。後世に禍根を残す事にならないのか。

明治、大正、昭和と湯沢雄勝地方きつての文化人であった帯谷久太郎氏の句に「故郷を愛する者は故郷の、土になれよと鳴く閑古鳥」というのがある。

先人の築き上げた故郷の山河を、我々の時代で変える必要性については、熟慮を重ねるべきと思う。責任ある答弁を聞く。

村長 私自身も昔の成瀬川を大変懐かしく思うが、今の川の状態では残念ながら、夏の濁水期には、川や岩の珪藻類が枯死し、いわゆる川の「シラツバケ」現象が起き、ここ長い間我々の目に無残な姿を呈することが多くなった。

これに起因するのは、地球温暖化や、昨今では、森林が水を吸い上げているという、シヨッキンゲンなテレビ報道もあった。こうした事を含めて、ダムにより常時満水位を保ちながら、夏の濁水化を防ぎ、川の正常な機能を果たすようにしたい。

しつもん

また、濁りについては、洪水の時点でドロ水がどのような形で流れ出るかに係ると思うので、湯沢工事事務所でもいろんな角度から影響調査をしており、よりよい選択取水等の対策について引き続き要望していく。

成瀬川の水を、きれいにしたい。そして、より良いダムを要望し実現に努力したいので理解を願う。

再問 三割減反の時代に下流市町村の水不足は考えられない。また平鹿地区など、下流の大雄、雄物川、浅舞方面の平地地帯では今、農業担い手育成事業として、一町歩田の整理が盛んである。作業はすべて重機で行い、結果として驚くほど水持ちがよい、良すぎて困るといつている。

成瀬川の清流を殺してまでのダム設置は、必ず後悔すると思う。**村長** ダム設置、建設目的は、灌漑用水、洪水調節と水道水であり、水が間に合っているかそうでないかについては、調査に基づき積算したのであって、必要によるダム建設である。

成瀬ダムは村だけでなく流域に及ぼして、住民の生命・財産を守るといった大きな目的を持ったダムであると理解している。

他の質問事項

- 浄化槽工事業者の選定基準
- 浄化槽一括直営購入方式の検討



成瀬川の清流



窓口の時間延長を

問 住民サービスの一環として、経費や負担があまり大きくならないような時間延長や、時差出勤での窓口業務ができないものか。

村長 戸籍関係については、国の方からきちんと所定の研修を受けた職員がやることになっていて、非常に厳しく事務の取り扱いをするように言われている。

近隣の湯沢・雄勝、横手・平鹿の管内でも時間を延長し業務を行っている所はないようだ。

当村の場合でもあらかじめ予約を受けるなどして、時間外や休日に住民票や印鑑証明を発行するような明確な形での、時間外サービスは行っていないかった。

ただこれからは、緊急性のものだとか住民サービスの観点からも、内容によっては、可能な限り指示したい。

時差出勤などの変則勤務体制については、戸籍あるいは住民事務に限ることなく総合的なこととして、いろんな観点から考えなければいけない課題だ。

いい方向にいくよう努力する。

いっぱん

特別豪雪地帯での雪の活用は

問 特別豪雪地帯でありながらも、克雪対策については、全県一の除雪体制ではないかと思うし、今後とも継続して欲しいと考える。

この、毎年降る雪を何とか利用できないものか。

新エネルギービジョンも策定した当村の、今後の雪の利活用についての取り組みを伺う。

村長 雪の利雪・克雪は、雪国である我々の村にとっては大変大事

な施策のひとつであると思う。

地域新エネルギービジョンの中で大変いま注目されているのは、雪による冷房エネルギーのようだ。これは、環境にやさしいと聞いているので公共施設や、これから新設する施設、あるいは住宅などにも積極的に取り組んでいきたい。

オリジナル商品の開発を

問 当村の豊富な山菜や副産物を使ったオリジナルな商品の開発に取り組んで欲しい。

村長 このような事業は、行政だけでやるのではなくしてその事業に取り組む方々の、商売として成り立つように行政が支援することは可能だと思う。

具体的には、取り組むべき方々のひとつのアイデアなり、熱意が一番重要だ。

村としても積極的に支援していきたいし、大いに期待している。

ぜひ、村のオリジナルな商品を作りだせるような対策を、順次取り組んでいきたい。



佐々木正夫 議員

窓口業務の時間延長や時差出勤を 村長/可能な限り努力する



高橋 健 議員

浄化槽の管工事の発注は 村長/個人の所有物なので個人で

問 今進められている合併処理浄化槽の設計は、どのようにして行われているのか。

また管工事については誰が発注するのか。

村で業者等の紹介をしているのか何う。

村長 浄化槽本体については建設課が担当し、管工事については、資格を持った職員がいる管工事業者が設計、積算する。

本体工事以外は個人の所有物なので、管工事については個人の発注である。

管工事については、補助金を出さず関係から村でチェックする。

誰に頼んでいいのか判らない場合は、村に登録している業者を紹介している。

工事費のかなり増しは

再問 浄化槽工事の障害物などで工事費が上積みになる場合は、どんな対応をするのか、また管工事のチェック体制は。

建設課長 例えば、庭の木や石が工事の支障となった場合は、個人の負担となる。

コンクリートを取り壊して浄化槽を設置する場合は、復旧も含めて浄化槽工事の中に入る。

積雪地方にあわせた設計で、車が乗っても大丈夫な設計となっている。

村のチェックは、見積額が適正かどうかを一級建築士に委託しており、見積書が提示された時点で審査し、完成後に検査することになっている。

パークゴルフは

なんのため

問 なんのためのパークゴルフかと、楽しいパークゴルフをめざすため次の点を伺う。

しつもん

① 用具置場の改善が必要である。
② 芝の管理は、適切におこなわれているか。

③ 暑い日や昼食時に、休む場所が必要である。

④ 普及の為にシーズン・優待券、回数券などを考えているのか。そして今後の運営は。

村長 村民の健康、福祉、体力づくりのため、村民が等しく利用できる施設にしたい。

① 二階で受け付けている関係で、大変不便をかけておるが、ズックで2階まで上がれるようにしたい。

将来は国道側のエリアに管理事務所も検討している。

② 維持管理については、専門的な技術が必要なことから造園業者に委託している。

③ 今年度はベンチ十基を設計に入っており、十四年度は東屋を一棟、日除けテントを設置したいと考えている。

④ 来年度から秋田栗駒リゾートへの運営委託を検討していく。その中でいろんな対応策を、委託先で検討することになると思う。



新築と同時に浄化槽も整備 (手倉)



川のにごりを少なく

他の質問事項

- 産業関連と日常生活上での提案
- 郷土史写真集の作成を
- 行財政改革と交付税削減

問 ダム建設後の成瀬川の濁り長期化問題で今回改めて質問するにいたったのは、山内村大松川ダムによる横手川の濁り長期化が深刻な問題になっているからだ。

山内村落合地区でダム下流の松川と黒沢川が合流するが、松川は濁り続けているの一方の黒沢川は同じような洪水なのに私たちの成瀬川と同じように洪水三日後には澄んでおり、その二つの川の比較を現地で見れば、「ダムの濁りは軽減できる」という、国の言う論はほとんどあてにならないことがわかる。

「選択取水方式で濁りを軽減」と言うが、それは川の生態系を守るほどの役割にはならず、夏期に二十日ほどの間隔で小規模でも川が濁るほどの雨が降れば、ダムに溜まった水が川を濁し続けることはほぼ確実と思われる。

選択取水設備のある大松川ダム下流の横手川は、二十日ほどでやつと濁りがとれたと思ったら、また小規模な降雨によって濁り続けていた。

▼選択取水方式がこのように濁り軽減に対して役にたつ機能がないとなれば、環境アセス書に書いてある以外で、濁り長期化がおきないという理論的根拠は他にどんな

いっぱん

ことがあるのか。

▼皆瀬川の濁り長期化については、洪水が発生しないからデータが充分でないとも言いが、小規模の出水でも皆瀬川の濁りは続いている。その調査データを国はなぜ示さないのか。

▼濁りが長期化した場合、成瀬川の生態系に与える影響についても環境影響評価を国にさせるべき、という点について聞く。

村長

▼環境アセスに書いてある以外での科学的根拠等は、私自身の手元には資料を持ち合わせていない。いすれ、ダムの濁りの長期化が他のダムのように続かないようなダムづくりを要望したい。

▼皆瀬ダムについては、大きな出

水が発生しないなどの理由で、水質調査を継続しデータの充実に図っている段階のためようだ。

ただし、問い合わせたら現段階の調査結果については、公開手続きにより資料を提出することが可能である、とのことから濁り長期化への対応、調査内容などももう少し詳しく聞きたいと思っている。その際は議員も同席願いたい。

▼環境影響評価では、ダム建設による濁水現象への影響は少ないと評価しているが、「現時点において予測しえなかった影響の発生がみられる場合は、必要に応じて環境に及ぼす影響について調査を実施し適切な措置を講ずる」とも聞いている。

懸念の点は我々も同じで、川の生態系は何日くらい続く濁りでくずれるのか、濁度がどれくらいだと影響があるのか、少しでも現在の成瀬川の状況に近い状態になるよう詳細な調査の実施を強く国に要望し続け、実現させたい。

選択取水方式が濁り軽減に対して万能でないことも伺ったが、今後濁りに対する技術的なことを設計に取り入れることなども可能と聞いており、国との会議でこの点も十分に配慮してもらおうよう繰り返し話をしていく。

富田 義行 議員

ダムと成瀬川の濁りで環境影響評価を 村長/詳細な調査を国に要望する





伊勢谷政雄 議員

村道新設改良の必要性は 村長/機能上からも必要と考える

問 村は平成十四年度に向けて、田子内バイパスの宮田地区から役場前を通り上林線の機械車庫付近までの村道改良計画を示した。

この事業は、村の発展計画にも示されているが、村の財政状況や、経済不況下での収入減や、医療費の負担増や健康保険、介護保険の税率改正による負担増など、住民には、不安要素ばかりが目につく毎日となっている。

このような中で、道路新設改良計画の必要性について、村の考えを伺う。

村長 この道路については、田子内バイパスが造られる頃から必要性を感じていた。

バイパスからは、公共施設やJAなど村の主要施設が集中している地区へのアクセス道路として、また中学校まで、特に冬期間大型バスなどの車両も安全に通行可能にしたいと考え、機能上からも必要な道路であると考え計画したものであり、主要施設の中には、消防署、駐在所、診療所や防災センターなどがあり、緊急・救急を要する場合、一刻も早く主要道に出て急行できるような環境にするための計画である。

事業の予算規模は

問 事業計画全体の予算規模をどのくらいと試算しているのか。

村長 全体の延長は六百メートル、有効幅員六メートルで、植樹帯を設けて、シンボリックな道路にしたいと考えた。

あくまでも概算だが、三億二千万円を予定している。

既存道路改良での

対応は

問 ふる里館前から役場までの、旧国道線の改良で対応も可能と思われる。

この区間は、県が伊達堰改良を、水環境整備事業で進めている。

いっぱん しつもん

この事業に合わせた、道路改良を行うことも可能と思う。

村民の目には、大きな違いはないと思うが、村はどう考えるか。

村長 既存の道路で計画するとなると、道路構造令などもあつてその計画性が逆に疑われる。

このようなことから、ほとんど不可能な状況であろうと思う。

東小グラウンドなどを 考えての計画か

問 この道路改良を進めると、給食センターや小学校のグラウンドなどについても対応が必要となる。このような問題点も考えての計画なのか。

村長 給食センターは地盤も悪く、建物も傷んできており、何らかの対応を考えなければならぬ施設となっている。

今度の道路計画には、給食センターと校庭の一部もかかる予定になっている。

校庭の整備も視野に入れて、総合的に判断していかなければならないだろうと思うが、計画に対する予算は計上していないので、国・県に要望しているところだ。

当然、給食センター、校庭整備も他の事業として必要となつてくると思っている。

他の質問事項

- 林道の維持管理策
- 村営住宅の方向性は
- ごみ処理問題での取り組み



国道より村道予定地を望む

行政報告

オフトーク通信は十四年度運用開始

村長



▼防災行政無線は運用後二十二年を経過し、障害が出ているため次世代の検討をし、有線によるオフトーク通信で行う方向で、十三年度中に施設や交換局などの整備を終え、十四年度中に送受信センター装置などの工事を行う予定。

▼秋田栗駒リゾート(株)は会社設立十年目にして、決算を単年度黒字にすることができた。

さらに会社の効率的な経営に努力する。

▼「すずこやの森」等を会場に水源の森林体験教室を今後4回開催。

▼入道地区水路改修工事、田子内地区せせらぎづくり推進事業関連の天神林地内道路移設工事と水路関係事業もまもなく発注予定。

▼雇用情勢は悪化しており、村政にも影響が予測され、慎重に適切な対応を求められている。

▼総合検診後の事後指導を、各地で開催し対策に取り組んでいる。

▼岩井川バイパスは、今後用地説明会を経て、用地測量、用地交渉に着手、一部工事の着工となる。

これは、成瀬ダムの工事用道路としての意味合いがあり、ダム関連の工事がいよいよ始まる。

▼アメリカのテロ事件は、民間人を多数巻き込んだ極めて悲惨な事件で、許されない暴挙、大きな憤りを感じ、憂慮している。

▼夏のイベントは、多くの参加者があった。

「仙人学校森の教室」は仙台、秋田などから百二十名の参加。

焼石、栗駒の登山客も増加し、登山道の整備なども行っている。

▼パークゴルフ場は、オープン以来好評で、今後全部が完成する来年度以降は更に期待できる。

▼合併浄化槽は、四十五基を発注し、完成もあとわずか。

現在、十一基の申請見込みがあり早期発注したい。

完成した方々から多くの喜びの声が寄せられている。

教育長



統合小学校は 順調に経過

▶統合初年度の小学校は、順調に経過しており、我が村の統合をテストケースとして注目する町村もあり、良い結果を出したい。

教職員の熱心な取り組み、保護者をはじめ地域の支援で順調に推移。

▶「村民スポーツ祭」は、9月30日から11月4日までの5週間、12種目を予定、村民の多くの参加を期待する。

スポーツ講演会には、元巨人軍選手の吉村禎章氏を迎え、講演終了後、野球教室を開催し、実技指導をお願いしている。

▶仙北道に関する事業が順調に進んでおり、7月8日に「下嵐江街道を歩こう」というテーマで村内外約30名が、大胡桃山から下嵐江まで踏査した。

仙北道踏査は、8月25日約40名が参加し、村から胆沢町までの8時間の行程で実施。

翌日に第3回目の「仙北道を語る集い」が胆沢町で開催され、講演会やパネル討論が行われた。

3カ年にわたり設置した案内標柱の点検を9月16日に実施し、修復をした。



吉村氏の野球教室

決算審査

一般会計及び特別会計総額 50億円余りを認定

決算特別委員会は「すべての決算は認定すべきもの」と報告
本会議では「委員長報告のとおり認定する」と決定した。

平成十二年度の一般会計と特別会計六件に関する、歳入歳出決算の審査は、議長と監査委員を除く十一人の議員で構成する特別委員会（委員長：鈴木秋雄）を設置して行われた。
今号では、九月二十五日と二十六日の二日間行われた審査のうち、一般会計に関する主な質疑にスポットをあてた。

一般会計「歳出」の主な質疑

奨学金の貸付免除者の 審査状況は

富田委員 雇用情勢が不安定で、
返還期間の据え置きを検討は、
返還額を免除する」という規定も
あり、期間の据え置きをすると免
除規定にも影響し、検討課題だ。
免除者は住民票と民生委員の在
村証明により、決定している。

形で審査されているのか。
企画課長 「在村五年でその年の
返還額を免除する」という規定も
あり、期間の据え置きをすると免
除規定にも影響し、検討課題だ。
免除者は住民票と民生委員の在
村証明により、決定している。

脳下ツク補助金の 単価の違いは

佐々木正夫委員 平鹿総合病院と
羽後病院とは補助単価が違っ
ているが、なぜ違うのか。

草薙主査 金額が五千円程違うが、
実施している検査内容、特に血液
検査の内容が違うことによる。
当初の予定数より多くなったた
め、平鹿総合病院の予定数が満杯
となり、羽後病院にもお願いした
ことにより違いがでた。

介護保険が導入されて 移送サービスはなくなったのか

伊勢谷委員 以前から村では、移
送サービスを独自で実施してきた
が、介護保険との関係でどうなっ
たのか。
高橋主査 移送サービスは、当村
の介護保険では実施していない。
保険料に大きく跳ね返ってくるこ
となどから、保険外のサービスと
して現在は村単独で補助をしてい
る。

地域新エネルギービジョンの 調査委託は

富田委員 この調査とは、具体的
に何の調査を委託したのか。
企画課長 地域の新エネルギーの
調査業務を委託したものである。
風・雪・小水力の三点を重点的
に検討している。

特産品生産拡大支援事業の 自管原材料確保とは

高橋竹雄委員 この事業の補助金



決算特別委員会の審査

で良質の原材料確保とあるが、土
壌改良のことか。生産高に応じて
助成ともあるが説明を求める。
農林課長 特産品生産拡大支援事
業は平良カブの原材料、収穫した
平良カブに対する助成で、肥料な
どではない。
一キログラム当たり、百五十円
の二分の一を助成している。

国際交流助成金の 内容は

高橋健委員 各小学校と中学校に

焦点



秋の日の栗駒山荘

国際交流助成金とあるが、この内容を聞く。
教委総務課長 村にいる外国籍の方にお願ひし料理講習会を開催したり、踊りを習ったり教材を購入したりしている。

三ツツの栗駒山荘の 工事の随意契約は母当

富田委員 村の財務規則にも随意契約の条件があるが、なぜ栗駒山荘の改修工事が随意契約となったのか。
企画課長 雪解け後の開業にすぐ間に合わせるため、急な工事であったこと、西松建設で施工上の点で確認をし補修を行っており、こ

の関係で随意契約をした。

学校林の手入れの状況は

柳委員 統合により、各学校の財産である学校林も統合になったと思うが、最近の手入れの状況は。
教育長 統合により、学校林も統合となったが、手入れについては財政担当と相談し、計画的に森林組合などに依頼することも検討したい。

防火水櫃などの用地 買い上げの計画は

伊勢谷委員 大部分が個人所有となっている現状だが、用地関係について買い上げなどの計画は。
住民課長 この敷地については、買い上げなどを含めて対応したいとした経緯があるが、現実としては進行していない。

災害など危機管理への 考え方は

高橋健委員 テロなどを含めた災害・危機的なことに対する取り組みはあるのか。
住民課長 特別テロなどに関しては想定していないが、自然災害などについては、防災センター建設を契機に意識の高揚を図ることになる。
具体的には持ち合わせていないのが現状である。



国道397号時間帯通行止め

国道三九七号の時間帯 通行止めについて

佐々木正夫委員 一年を経過し、また観光シーズンを迎えているが、経済的にもマイナスと思う。
対応策はとっているのか。
建設課長 昨年の期成同盟会の際にも、今年も要望をしている。

短時間の通行許可の現状は、通行止めと同じということでも水沢振興局へも要望している。

今年には既に発注しており、今後については要望を取り入れた設計にしたいとのことであった。

公債費の繰上償還などの 考えは持っているか

富田委員 繰上償還は別として、

政府委資金の繰上償還は柔軟になってきている。

村の今後の対応を聞く。
備前主査 繰上償還については、非常にハードルが高く、現実としては県ではなかった。十三年度借入からは条件付きで可能となった。

青スジ(水路)

赤スジ(道路)の協議は

高橋健委員 これらについて、庁舎内の協議は進行しているか。
税務課長 国から村への所管替えの出来る施策があり、建設課と協力をして事業を進めている。
現状では、国のものなので隣地の所有者のこともあり、なかなか言いにくい。



H 13.9.4 ~ 9.7

(和歌山^{なか}県^へ中^ち辺^ち路^ち町、三重^み県^や海^ま山^ま町)

「快適環境の まちづくり宣言」の 海山町

総務教育民生常任委員 谷藤 怜子

海山町では、環境を重視したまちづくりを進めている。

その一つとして、ISO14001（環境ISOとも言われている。ISOとは国際標準化機構）の認証を取得し、環境マネジメントシステムを構築し、官民一体となって美しく安全な生活環境を維持している。

平成三年からごみ処理施設建設の検討に入り、十一年四月からRDF施設の運転を開始した。

ごみ固化燃料施設（RDF）の建設

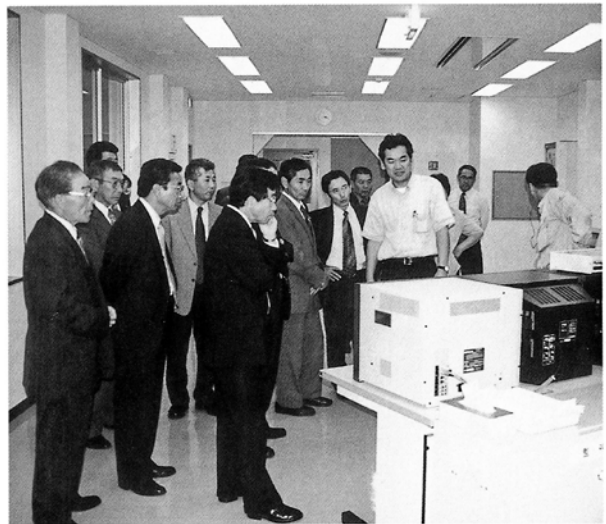
ごみの固形燃料は、生産量の六割が四日市の業者に売却、残りは燃料炉への自家消費となる。

施設建設地の小松原地区への補償はないが、地区からの要望は町で優先受入し、町長との座談会も年一回実施している。

ごみの分別と 減量化の推進

全地区へのごみ集積所（ステーション）の設置で、資源ごみのリサイクル、ごみの分別、減量化に対する意識の向上が行動となって表れてきていると説明があった。

これには、各地区での説明会が何度もおこなわれたそう。資源の大事さ、環境の大切さ、電力の消費を抑えるなど、住民意識の高揚を促すとともに、協力を依頼した。



ごみ固化燃料施設を視察

(三重県・海山町)

自主財源確保から 原発問題が浮上

現在は、原発の設置要望を検討中で、近々に賛否を問う住民投票が行われるかもしれないということであった。

財源の乏しいわが村にとっても考えさせられる問題である。

ごみ処理のルールを 守り再資源化を

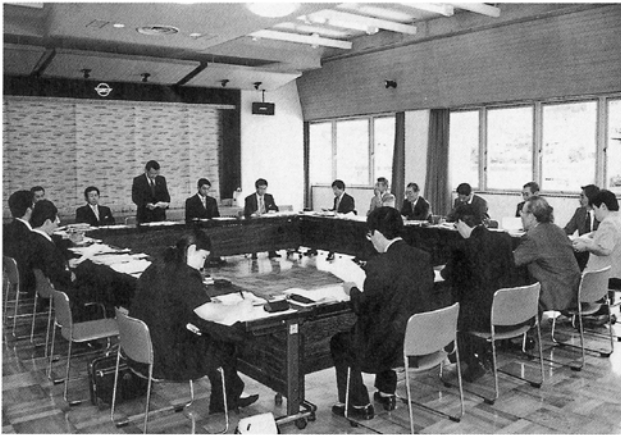
私達の村でも、生ごみの水切りや分別などのルールを守り、ごみの減量化や資源化を率先していかねければならない時期にきていると思われる。

現在、村の生活研究グループがごみの資源化に向けて活動し始めている。その活動が、全村に広がって行くとともに、ごみに対する各自の意識の高まりを望んでいる。

一 ポ し 察 視

紀州の中辺路を訪ねて

産業建設常任副委員長 佐々木喜榮知



いきいき町づくり事業を研修

(和歌山県・中辺路町)

南紀白浜より内陸部に入った町中辺路は、和歌山県のほぼ中央で、町の面積は県下で四番目の広さを持ち、町の大部分が山林ゆえ林業が盛んで、檜の集成加工や椎茸栽培も行われている。農業は主として富田川と日置川

沿いの平坦部を中心に稲作のほか、紀州梅やシキミ、ヒサカキの栽培も行っている。

熊野詣での街道筋という事から昭和三十一年に近隣三村が合併、中辺路町となった。

当地は熊野三山への参拝によって踏み開かれた地域で、緑豊かな郷であった。

歴史文化に恵まれ、熊野古道として、年々脚光を浴び訪れる人も多くなったという。

いきいき町づくり

促進事業

ここ数年過疎化と共に少子高齢化が進んでいる中で、町ではこの事業を平成六年にスタートさせた。

- (1) 若者定住促進事業
- (2) 農村振興補助金
- (3) 林業振興補助金
- (4) 観光産業振興補助金
- (5) 地域グループ活動育成事業
- (6) 特認事業

の大きくは六つの事業からなっている。

この事業は十二年度までの累計で四百九十七件、金額は約十一億二千万円となっている。

この施策は、細目わりと五月、八月、十一月と年三回の申込時期と審査会の承認を得たものから順次発動していく方法で、身近から活用しやすい制度に練り上げられたものだと思った。

わが村にもおいても、非常に参考になる点があると思う。

時代が移り経済の構造も変わり、当町でも六十五歳から七十五歳の人口が最も多い構成であった。

このような背景の中で危機感を持ってプロジェクトを立ち上げたものと思う。

このような状況はどの自治体でも等しく抱える課題であろう。

ほかに、水資源の先細りに関わる植林樹種の見直しや、同和対策など固有の問題もあり、難問が山積みの子は、大変でも取り組みなければならぬ課題と想った。

こんな質疑がありました



ジュネス休養センター、ボイラー交換を実施

(一般会計補正予算の「歳出」より)

「歳出」に対する質疑

休養センターのボイラーの補修内容

高橋健議員 ボイラーの故障原因と補修内容を聞く。
企画課長 家庭用ボイラー四台で営業していたが、古くなり使用不能となり、業務用ボイラー、昇温用二台、給湯用ボイラーに交換するものである。

税の口座振替手数料は

佐々木正夫議員 今年度から、税などの口座振替が始まったが、各金融機関の一件当たりの手数料の額はいくらか。
税務課長 J A、秋田銀行、北都銀行、郵便局それぞれ一件取り扱うごとに、十円の手数料を支払っている。

例規集の電算化の他団体の状況は

富田議員 村の例規集の電算化の補正を上げたが、管内、県内の状況を聞く。
総務課長 県内六十九市町村中、二十市町村が導入予定、あるいは実施している。
雄勝郡管内には、予定はないと思われる。
全国では、三千ある自治体のうち、千二団体が実施している。

議 会 日 誌

(七月より九月まで)

平成13年

- 7月2日 雄平2郡議会議員合同研修会
- 7月4日 新庄湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会総会
- 7月6日 議会広報対策特別委員会
- 7月9日 国道三九七号整備促進期成同盟会総会
- 7月10日 国道三四二号整備促進同盟会総会
- 7月11日 湯沢雄勝広城市町村圏組合議会
- 7月12日 林業政策現地検討会
- 7月13日 議会広報対策特別委員会
- 7月15日 村消防訓練大会
- 7月17日 「社会を明るくする運動」東成瀬村集会
一部オープン記念式典
- 7月18日 村特定地域生活排水処理事業起工式
- 7月19日 雄勝郡町村議会議長会
- 7月25日 国道一〇八号仙秋ライン
整備促進期成同盟会総会
- 7月27日 看護福祉系大学誘致促進期成同盟会総会
- 7月31日～8月1日 秋田県町村議会議長研修会(東京都)
- 8月1日 高速交通体系整備促進協議会総会(秋田市)
- 8月3日 主要地方道横手東成瀬線
整備促進期成同盟会総会
- 8月5日 赤滝祭二〇〇一
- 8月8日 山形新幹線延伸早期実現期成同盟会
- 8月10日 郡市議会議員親善パークゴルフ大会
- 8月15日 成人式
- 8月16日 第6回ワールドゲームズ二〇〇一開会式

スポット



平成13年2月のIT講習会

(開発センター)

松くい虫の被害状況と 今後の対策は

佐々木正夫議員 今回は数本と聞いたが、他の団体では数千万単位の被害のところもあると聞く。対策が後手後手にならないように、対応策を聞く。

農林課長 他町村の状況を見ると一般的な森林には手が回らず、公園管理に消毒をしている状況だ。関係機関から聞くと、被害率三十パーセントの早い段階で伐倒処理で駆除すると広がらないとのことであった。これからは調査を徹底して、くい止めることが必要となる。

生涯学習推進費の 追加内容は

高橋健議員 教室講師の謝礼追加とあるが、教室の回数が増えたのか、他の特別なものがあるのか。教委総務課長 IT講習の追加に伴う補正である。

国道関係の調査を 村でやるのはなぜ

伊勢谷議員 国道の調査委託費をなぜ、村の一般会計でやらなければならぬのか。

建設課長 国道三四二号の狐狼化地区の開通が、今年は春のゴールデンウィーク前にできた。

村に及ぼした経済効果を、言葉だけでなく数字で表し、地方のこうした小規模の整備によっても、地域活性化に結びつくことを調査し、今後の整備要望に活かしたい。

公園費の工事の内容は

高橋健議員 この工事の内容を聞く。

建設課長 めいそうの森の上流側国道までの間に受水層があり、これまで木材で雪囲いをしてきた。これを鉄骨で防雪し受水層を守るためのものだ。



小学校の統合を記念し、タイムカプセルをうめた

- 8月24日 全県町村議会議員研修
- 8月28日～29日 県南4郡町村議会議長連絡協議会
- 8月29日 総務教育民生常任委員会学校等の視察
- 8月29日 羽越・奥羽関連鉄道同盟会促進大会
- 8月31日 議会運営委員会
- 9月1日 第4回 東成瀬村議会臨時会
- 9月1日 壮実パークゴルフ大会
- 9月4日～7日 常任委員会合同先進地行政視察
(和歌山県・三重県)
- 9月11日 議会運営委員会
- 9月17日～27日 第5回 東成瀬村議会定例会
- 9月18日 議会のあり方検討委員会
- 9月28日 県南国道協議会及び県南高規格道路
建設促進期成同盟会要望会
- 9月30日 村民スポーツ祭二〇〇一 開会式

皆さんからの
「請願・陳情」
 このようになりました

採択となった請願

- ▼外米の削減・廃止、自主流通米の値幅制限の復活と
 生産費と所得を保障する米価を求める請願
 ・秋田県米価対策共闘会議 議長 佐藤 長右衛門

国などに意見書を送付

- ▼外米の削減・廃止、自主流通米の値幅制限の復活と
 生産費と所得を保障する米価を求める意見書
 (総理大臣、農水大臣、財務大臣)
- ▼道路特定財源制度の堅持を求める意見書
 (総理大臣、総務大臣、財務大臣、農水大臣、
 国交大臣、防災担当大臣、経済財政政策担当大臣)
- ▼豪雪地帯対策特別措置法の改正についての意見書
 (衆・参議長、総務大臣、国交大臣、文科大臣)

スポーツの秋、村民スポーツ祭が約一ヶ月間、様々な競技が開催される。せめて一種目には参加をしよう。九月三十日の開会式では、元巨人軍の吉村慎章選手のふれあいトークショーと野球教室があった。外に目を向けると当日、女子マラソンで高橋尚子選手が、ベルリンで世界最高記録で優勝した。大リーグでは、イチロー選手が打って・走って二冠達成の嬉しいニュースもあった。

一方アメリカでは、同時多発テロ事件等々の続報、テロ報復の開始など一寸先は闇のなかである。

また国内では、各地で市町村合併が話題となつてきている。

村の動きとしては下水道事業着工、防災センターの整備、成瀬ダム建設の道路準備などが挙げられる。

定例議会の決算委員会において、活発な議論が展開され、平成十二年度の事業の成果が検証された。

出来秋を終え、ホッとしているところである。厳しい冬のための準備が始まろうとしている。

(委員：高橋竹雄)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会
 〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
 TEL 0182-47-3411 FAX 0182-47-3260
 E-mail: gikai@higashinaruse.akita.jp

自己を知れ 高證のひとりごと
私もひと

楡山台 岩崎 高證さん



仏教では、まず「我痴」といって、自分は、いったい何者かという事が、わかったらんというんです。「我痴」というのは、わからんものありさまです。

オレは、いったい「何モノか」という事が判らないんです。

歳だけは一人前ととる議員さんでも、年金もらって苦のない様な顔をしている人だって、子供産んで幸せそうな顔をしている母さんだって、周りに言うて聞かせておるおばあちゃんでも、デッテル(肩書)はがしたところで見ると、やっぱり自分が判ったらんのです。

せっぱ詰まって、判らんというのは、仏さんと自分と、ちっとも違わない(生き生きした、何にも、汚されない、みずみずしい自己)ということが、判ったらんというんです。

その次は「我見」。これは、何につけても、それぞれ勝手な意見を持っておる。

それぞれが持っている理想は違う。話し合いをしたっておさまる訳がない。

話しの前に独断に決めておるんだから、酒飲んだってナットクするワケないんだから・・・。